

院代だより

令和八年



新春の候、檀信徒の皆様には益々のご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

旧年中は格別のご厚情とご支援を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、日頃より当寺院の護持発展にご理解とご協力を賜っておりますこと、心より深く感謝申し上げます。

昨年、皆様にお届けさせていただいた院代だよりですが、反響が多くまた、お檀家様皆様のご自宅にお伺いさせていただいたときや電話などの問い合わせの中で、ご自身やご家族の今後の在り方、さらにはご逝去後の諸手続きや葬儀・納骨・後見制度等に関するご不安やご相談が増えております。私どもといたしまして、皆様の不安やご相談を深く

受け止め、皆様が安心して日々をお過ごしただけることが何より大切であると感じております。これらのお悩みに寄り添い、少しでも心の負担を軽減できるような体制づくりの必要性を強く実感しております。

そこで、現在、皆様のお声を踏まえ、将来に備えるためのご相談体制の充実や、万一の際にも慌てず安心してお任せいただける環境づくりに向けて、寺院として皆様に提供できる取り組みを検討・整備しているところでございます。

そのため、実際に質疑応答形式により、皆様のお声を聴かせていただく場を設けさせていただきたいと存じます。3月20日お彼岸中日法要の後に、説明会を開催いたします。現在不安がある方や気に

なっている方もそうでない方も気軽に足を運んでいただけるよう、お待ちしております。

また、この説明会において気になることや問い合わせに関してもどうぞ遠慮なく、当寺院までご相談ください。

今後とも檀信徒の皆様とご家族に寄り添い、安心してご相談いただける寺院であり続けられるよう努めてまいります。

本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

院代 慎龍 合掌

彼岸 中日法要

3月20日(金)13時より

